

令和6年度 学校経営方針

小山市立小山城南中学校

1 学校教育目標

- 自 学** 自ら学び、創造力のある生徒
敬 愛 互いに信頼し、高め合う生徒
健 康 心身共に健康で、たくましい生徒
郷土愛 郷土を愛し、郷土に貢献する生徒

2 目指す生徒像

ふるさと小山を心の拠りどころに、世界に羽ばたく生徒

〈目指す具体的な生徒の姿〉 【“生き生き”とした生徒】

- さわやかなあいさつができる生徒
- 夢や目標の実現に向け、粘り強く取り組める生徒
- 自らの考えをもち、積極的に交流・協力し、主体的に行動できる生徒
- いじめや差別を許さず、心遣いや思いやりを実践できる生徒

3 目指す学校像

「生徒が通ってよかった、保護者が通わせてよかった、
教職員が勤務できてよかった」と心から思える学校

〈目指す具体的な学校の姿〉 【活力のある学校】

- 生徒が「学ぶ楽しさ」を味わえる学校
- 教職員にとって「やりがい」のある学校
- 保護者や地域から「信頼」され、協力・支援される学校

4 本年度の努力点

(1) 自 学 自ら学び、自ら考える力の育成

- ア 学業指導を推進し、「学びに向かう集団づくり」「生徒が意欲的に取り組む授業づくり」に取り組み、主体的に授業に臨む態度を育成する。
⇒「授業づくり」を本流とした学校風土の醸成
- イ 「集団の中で学ぶ」という学校教育の特質を活かし、思考力・判断力・表現力を育成する。
⇒自分の考えをもち、他と協働して取り組む活動を通じ主体性を育む。
- ウ 一人一人の学力向上を目指し、全体指導と個別指導の両面からアプローチする。
⇒「分かる授業」「できるようにする授業」。T・Tや朝の時間帯等の有効な活用を図る。

エ 教師の適切な指導のもと、生徒の自主的な活動を展開することにより、「自分で考え、判断し、行動する力」を育てる。

⇒特別活動（特に生徒会活動・学級活動）の充実。

合意形成・意思決定、生徒による発意の尊重、リーダーの育成。

オ 基本的生活習慣等の定着を基底的指導としながらも、生徒の自主的・自発的活動を促進することで、生徒の自己指導能力を高める。

⇒他律から自律、そして自立へ。教師側の指導観、子ども観を整える。

（２）敬 愛 相互の信頼関係を基盤としたよりよい集団づくり

ア 集団活動を通して、生徒相互の信頼関係を育む。

イ 個性を生かして、互いに高め合える集団づくりをする。

ウ 秩序と関係性を高め、安心感のある学級・学年・学校づくりをする。

*ソーシャル・スキル・トレーニングの実践

（３）健 康 心身の健康保持とたくましい精神力の育成

ア 夢や目標をもち自己実現に向けて、粘り強く取り組む意欲や態度を育てる。

イ 自他の健康・安全を考え、行動する態度を育成する。

ウ 心身を鍛え、たくましい精神力を育成する。

（４）郷土愛 地域に根ざした教育の展開

（５）「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進

さまざまな課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことで、持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を育む。

（６）学校運営協議会（CS）の推進

「地域とともにある学校づくり」をめざし、学校運営協議会（コミュニティスクール）を推進する。地域と一体となり生徒を育む基盤を創る。

ア 地域素材や地域人材を導入した教育を展開する。

イ 学級・学校への愛着を基盤に、郷土への愛着を育む。

５ 合い言葉

3つの意「熱意・創意・誠意」

教職員の「意識」と「行動」が変われば、学校が変わる

